

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	老人福祉施設建設事業			
予算科目	3 款 1 項 19 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	581
記入者情報	所属長:	武智 年哉	担当責任者:	三谷 陽紀
実施期間	【開始年度】平成 25 年度 【開始年度】平成27年度			
事業の対象	市民			
事業の必要性	現施設が老朽化や耐震性・バリアフリーの問題により、サービスの提供に支障を来しており、生涯学習や文化活動等、人々との交流の拠点となる施設の整備が必要であるため。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	伊予市下吾川
運営方法	【運営方法】	指定管理	【運営費(予定)】	
事業の目的	高齢者が生きがいをもち、積極的に社会参加することを促進するため、生涯学習・文化活動等、多くの人々との交流の場を整備し、充実した高齢期の確立と社会参加を促す。			
事業の内容	木造平屋建て 延床面積:613.89㎡ 老人福祉センター :集いの場・教養娯楽室・大集会室・相談室 デイサービスセンター:機能回復訓練室兼食堂・浴室			
改善策の具体的な取り組み(当初)	施設外構工事と施設前の市道拡幅工事について、一般車両等の通行の安全を確保し、周辺への影響が最小限となるよう調整を行なう。			
改善策の具体的な取り組み	市道拡幅に係る伊予農高の用地・物件補償については、7月24日に契約を締結し12月末までの移転引渡しとなった。市道拡幅については、年度内完成を目指す。			

事業費及び財源内訳							
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算			
事業費	直接事業費	56,771	198,115	626	153,577		
	人件費	3,182	6,740	5,055	6,740		
	合計	0	204,855	5,681	160,317		
人件費内訳	人工数	0.40	0.84	0.63	0.84		
	人件費単価	7,954	8,024	8,024	8,024		
	補助事業人件費	0	0	0	0		
	人件費	3,181	6,740	5,055	6,740		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	56,100	181,800	0	143,800		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,853	23,055	5,681	16,517		
実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
調査・設計	11,492						
施設建設	54,700	174,940					
その他	2,108	23,175					
年度別事業費	68,300	198,115					
財源	国・県支出金						
	地方債	56,100	181,800				
	その他	10,000	16,000				
	一般財源	2,200	315				
国・県支出金等名称	過疎債・建設計画推進基金繰入金						

成果指標				
成果指標	事業進捗率(事業費)経過年度進捗÷全体×100			
指標設定の考え方	実施スケジュールに基づき工程管理を行い、目標年度での完成を目指す。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目標	0	-	-	100
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	施設については、9月30日に完成、備品搬入・引越しの後、11月2日からの開所となった。市道拡幅は、施設前面について9月24日に側溝部分が完成、伊予農高敷地についても11月16日に物件の移転が完了した。その後、拡幅工事が行われ、3月24日に完成した。今後は、多くの方に利用されるよう、適切な管理と運営計画を立案・実施する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	年度内に全ての建設関連工事等は完成することができた。今後は、市民の皆様に長く、大切に使うよう計画的な修繕等を、適時・的確に行い施設の「長寿命化」を念頭に置いた維持管理を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備する中でいろいろあった意見が現在の図面でどういう状況であるのか、それが成果指標になると思う。</li> <li>・成果指標が進捗率であり、事業目的とは異なる。建設に関するニーズを見るといった点を出すべきである。</li> <li>・シートを見ても何の施設か分からない。評価シートに施設名称を入れていただきたい。</li> <li>・施設を新しくしているので、長寿命化計画に基づく適切な管理を行い、長く使えるようお願いしたい。</li> <li>・東京築地のような建設問題が起きないように、基本的な設計どおりになっているかしっかり管理いただきたい。</li> <li>・高齢者で喜んでいる方もおられる。適切な管理運営計画を立案し、実施していただきたい。</li> <li>・デイサービスは幾ら造ってもお客さんは絶えない状況であるし、老人福祉施設はますます必要になってくと思う。</li> </ul>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>事業の休止、廃止を検討する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>施設は9月30日に完成しているため、事業は完了である。今後所管が変わり管理運営事業を行うこととなる。</p>